



横田小だより



平成29年6月26日発行
高岡市立横田小学校

受け継がれるもの

校長 岡 はるみ

今年6月12日(月)に、1日早い横田小学校の誕生会「創校記念式」を行いました。今年も、横田小学校の校章の由来や、しっ子の「研精」魂についてお話ししました。「横田小学校百年史」をひもとくと、昭和30年代には全校児童が1,000人をこえ、教室数も23教室と、大きな学校だったことが分かります。現在1階にある資料館にもそのころの小学校の写真があります。また、前庭にある、長きにわたって校長の職に就かれていた宮崎久校長先生の銅像の話もしました。



横田小学校の校舎や子供たちが変わっても、校歌や校章を始め、静かに横田小学校を見守ってくれている歴史あるものが今でも残っています。

また、6月19日(月)の夜には、御印祭の前夜祭で、5・6年生の子供たちが有磯神社から、弥栄節踊りに参加しました。次第に周囲が薄暗くなる中で、弥栄節の音色が緊張感を漂わせます。周囲で見ていた方々の中には、「横田小学校の子供たちの踊りはかっこいいですね」と、うれしい話を伝えてくださった方がおられました。

これからも、古くから受け継がれる大切なものを、次の代に受け継ぎ、地域への愛着や誇りを育てていってほしいと思います。

ファイアーパークを終えて（保護者の方の声）

* お忙しい中、学習参観・ファイアーパークに参加いただきありがとうございました。

いただいたアンケートの一部を掲載し、紹介いたします。

- ・ 映画、煙中体験等、初めて体験すること全てが楽しかったようです。実際に消火器を握らせてもらったこと、火事が起きた時、水をかけたら飛び散った火の粉が出ることなどを教えてもらったようで、家で話を聞かせてくれました。とてもよい体験をさせていただきました。
- ・ 煙中体験では煙の中で視界が悪いとパニックになりそうですが、臭いがバニラの臭いだったので、怖がらずに脱出できていたと思います。低学年は楽しく訓練できた方が本当に火事に遭遇した時に冷静に対処できるのではないかと思います。
- ・ 家に帰って新聞で家族分のスリッパを作ってくれました。防火・防災の知識を楽しんで学ぶ機会をもててよかったです。
- ・ ファイアーパークの説明を児童に任せただけことがとてもよかったです。暗唱した人もいて、しっかりと身に付き、万が一の時に自分や他の人の命を守ることができると思います。親も説明をよく聞きました。